

細江まいひめ販売店MAP

細江まいひめとは？

「地元の人に安全安心なお米を食べてもらおう！」と結成した細江地域特産米研究会が、有機肥料 100%、農薬を 5 割以上削減して栽培した細江のブランド米です。

独自の工夫により「湖水汚染の抑止」「地元の生態系の保全」を進めており、田んぼの生きもの調査では 44 種類の生物が確認され、「水田環境鑑定特 A」も取得しています。

豚屋とんきい

住所：浜松市北区細江町中川 1190-1

TEL：0120-298630

HP：<http://www.tonkii.com/>

「千年以上続く細江の田んぼを守りましょう！（細江まいひめ事務局）」



ホリコシ産業

住所：浜松市北区細江町気賀 105-6

TEL：053-523-1184

HP：<http://www.horikoshisangyo.co.jp/>

「安全安心な細江のブランド米です」



宮司米穀店

住所：浜松市北区細江町中川 7172-52

TEL：0120-384117

「細江の地場産品、応援しましょう！」



米寅(三方原本店)

住所：浜松市北区三方原町

1726-7 (三方原郵便局の東)

TEL：053-439-6777

HP：

<http://www.kometora.com/>

営業時間 9:00~18:00

定休日 日曜・祭日・第2土

「田んぼの生きもの調査はおまかせあれ！」



特A環境

細江
まいひめ

水田環境鑑定士が選んだお米

※品種名ではありません

浜名湖うなぎ米
プロジェクト

私たちは、うなぎを始めとする浜名湖の生きものを育むため、環境に配慮した特別栽培を実施しています。今では、うなぎやどじょう、メダカ等がくらす、生きもの豊かな田んぼに戻り、代表圃場は、水田環境鑑定「特A」に認定されています。

おいしいご飯で健康づくり
お米日本一コンテスト2010
入賞

5kg



特別栽培米

節減対農薬農薬削減行レヘルの五割減
有機肥料使用

細江地域地区別栽培米研究会の概要

目的 条里制の名残りととどめる由緒ある美しい水田が広がるこの細江で、心を込めて特別なお米を作り、地元の人に食べてもらう

会員 細江町の生産者9名

栽培面積 10ha

あゆみ

- H18年 4月 持続性の高い農業生産方式導入開始
H19年 4月 エコファーマー取得、特別栽培試験開始
H20年 6月 細江地域特別栽培米研究会結成
11月 細江地域ブランド米「細江まいひめ」誕生
H21年 3月 浜松地域特別栽培米研究会と合流
4月 生きもの田んぼ米栽培開始
8月 水田環境鑑定「特A」認定
水田環境鑑定士：加藤謙吾(米寅)、江崎敦子、山下達也
<http://anzen-kome.com/main/new.html> (検索番号 9-220)
H22年 7月 田んぼの生きもの調査にて「うなぎ」を初捕獲
11月 お米日本一コンテスト in しずおか 2010 入賞

生きものを育む農法

有機物資材100%使用

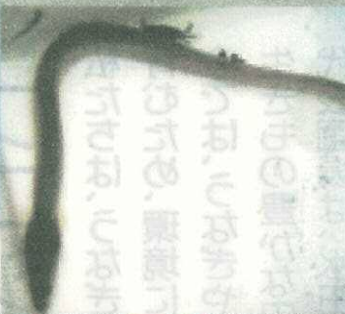
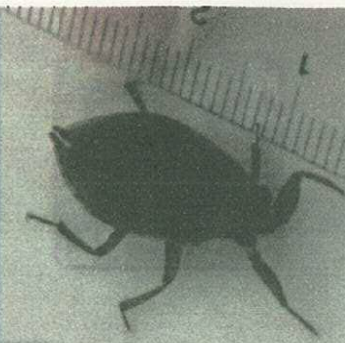
生態系のもととなるユリミミズや小動物のえさとなる、天然由来の魚粕や完熟堆肥で栽培しています。

化学農薬の削減

化学農薬を削減するために、病害虫が発生しにくい疎植栽培を実施し、やむを得ず使う農薬も、魚毒性が低いものを厳選しています。

生きものに配慮した水管理

湖水の水生生物が呼吸困難になるので、濁水を田んぼから流さない、カエルやヤゴに配慮してきつい中干しは行わないなど、生きものにさまざまな配慮をしています。



田んぼの生きもの調査

当会では、生態系の確認とお客様との交流を目的として、田んぼの生きもの調査を実施しています。

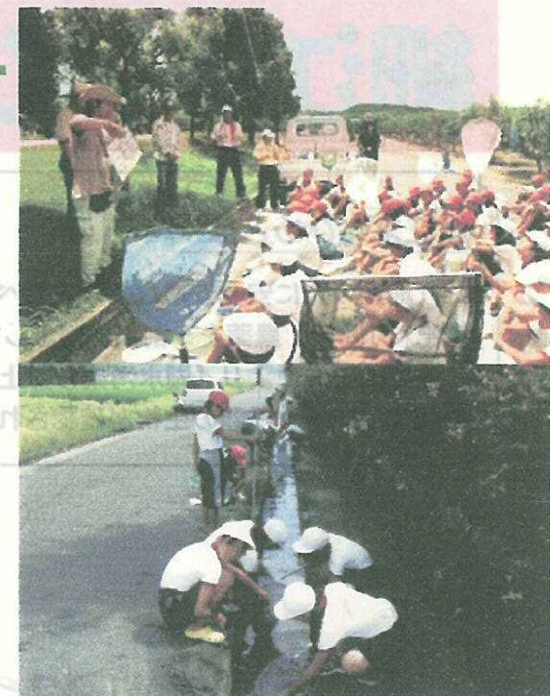
田んぼの生きもの調査では、農家との交流はもちろん、生きものやお米の専門家による個別指導なども受けることができます。

田んぼの生きもの調査結果

- ・生物判定 特A(44匹93点)
- ・水質判定 特A(最低基準値)

お米日本一コンテスト入賞

当会のお米は、安全・安心で、環境にもやさしい…だけでなく、「おいしいお米づくり」にもこだわりを持っています。その取り組みが認められ、お米日本一コンテストでも入賞することとなりました。



浜名湖うなぎプロジェクトについて

貴殿ますますご繁栄の段、お喜び申し上げます。

当会では、条里制の名残りととどめる由緒ある美しい水田が広がるこの細江で、心を込めて特別なお米を作り、地元の人に食べてもらうことを目的に、環境に配慮した水稻の特別栽培を実施しております。

その特別栽培の効果を検証すべく、平成 21 年度から田んぼの生きもの調査等を実施しておりますが、平成 22 年度の調査においてうなぎの回帰を確認しました。

うなぎの生態はまだ解明されていない部分も多いですが、身を隠す場所のある水路で小魚などの小動物を捕食して栄養成長しています。当会が特別栽培を実施することにより生態系が多様になり、戻ってきたものと考えられます。

そこで、日ごろ浜名湖の環境保全を推進している諸先輩方から御指導頂き、連携して、浜名湖を象徴する生き物である「うなぎ」の保全を目的としたプロジェクトを立ち上げて浜名湖の環境保全に付与したいと願い、当会のブランド米である「細江まいひめ」の冠に「浜名湖うなぎプロジェクト」と名付けさせて頂きました。